

留学報告書

記入日: 2015年2月25日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部／経営学科
留学先国	中国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 北京大学 現地言語: 北京大学
留学期間	2014年9月～2015年1月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2015年1月27日
明治大学卒業予定年	2015年4月



留学先大学について			
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1 学期:3月上旬～7月上旬 2 学期:9月上旬～1月中旬		
学生数	35,000人		
創立年	1898年		
留学費用項目	現地通貨 (円)	円	備考
授業料	0円	0円	
宿舍費	13,300円	266,000円	
食費	4,000円	80,000円	
図書費	200円	4,000円	
学用品費	10円	200円	
教養娯楽費	2,000円	40,000円	
被服費	300円	6,000円	
医療費	10円	200円	
保険費	300円	6,000円	形態:現地の保険
渡航旅費	2,250円	45,000円	
雑費	3,000円	60,000円	旅行費用
合計	25,370円	507,400円	

渡航関連

渡航経路:東京(成田)ー北京

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	22,500円
復路	22,500円
合計	45,000円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

地球の歩き方

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

大学の宿舍

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数2)

3)住居を探した方法:

現地に到着してから、寮の窓口にて

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮の部屋は埋まるのが早いので、早めに行って交渉すべきです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生事務室

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ニュースなどで情報収集し、夜はあまり歩かないようにしました。実際に犯罪に巻き込まれたことはありません。
4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮のインターネット接続は特に問題ありませんでした。街にあるカフェでもWi-Fiが使えます。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
現地に銀行口座を開設して日本にいる親から送金してもらいました。
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
カイロ
進路について
1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
リクナビ
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
日本IBM グローバルに活躍でき、かつ女性が働きやすい職場であったため。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
私は留学に集中したかったため、就職活動を終えてから留学に行きました。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません (理由: 卒業単位取得済みのため)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
中华人民共和国对外关系	中華人民共和国対外関係
科目設置学部・研究科	国際関係学部
履修期間	半期
単位数	4
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	牛教授
授業内容	中華人民共和国成立から現代に至るまでの共産党の外交政策について
試験・課題など	中間レポート(中ソ同盟の設立について5000字)、期末試験(論述)
感想を自由記入	中国人の本科生と一緒に受ける授業であるため、授業の難易度は高いです。しかし学ぶことも多く、特に5000字のレポートは大変ですが勉強になります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
商务汉语		ビジネス中国語	
科目設置学部・研究科	対外漢語学院		
履修期間	半期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授	刘教授		
授業内容	ビジネスで使える中国語の単語、文法		
試験・課題など	小テスト(6回)、中間テスト、期末テスト		
感想を自由記入	対外漢語学院の授業のため、他の本科の授業と比べると簡単です。授業も丁寧で、じっくり学ぶことができます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
中国民俗与社会活动		中国民俗と社会活動	
科目設置学部・研究科	中文系		
履修期間	半年		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授	陳教授		
授業内容	中国の民俗習慣、故事、文化について		
試験・課題など	中間レポート(民俗事項を15項目調査する)、期末試験(論述)		
感想を自由記入	中国の民俗の事柄について広く学ぶことができます。この授業は留学生向けの授業であるため、留学生で中国に関する知識がなくても理解できます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
中文报刊选读		中国新聞精読	
科目設置学部・研究科	国際関係学部		
履修期間	半期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授	張教授		
授業内容	中国の新聞や雑誌記事を精読		
試験・課題など	中間試験(論述)、期末試験(論述)		
感想を自由記入	中国の新聞や雑誌を読む際にためになる単語を学ぶことができます。留学生向けの授業であるため、授業のスピードは比較的ゆっくりでした。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	・アメリカに短期留学をする
4月～7月	・HSK 取得に向けた勉強
8月～9月	・HSK 取得に向けた勉強 ・イギリスに短期留学
10月～12月	・HSK 取得
2013年 1月～3月	・中国語の勉強
4月～7月	・留学したい大学を決定する
8月～9月	・中国人留学生のサポーターを務め、交流を深める
10月～12月	・留学の選考
2014年 1月～3月	・就活
4月～7月	・留学に向けて中国語の勉強を再開
8月～9月	・留学が始まる ・寮の手配 ・新入生オリエンテーション
10月～12月	・中間試験 ・中間レポート

留学体験記

留学しようと決めた理由	留学することで自分の視野を広げ、新しい知識を得たいと思ったからです。現地に行くことで、日本にいただけでは得られないような知識を得たり、現地の人と交流することで多様な価値観を身に着けたいと考え、留学をしようと決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学に向けて、中国語の勉強を徹底的にやりました。私は中国語のクラスではなく、本科の授業を受講したかったため、単語や文法はもちろん、中国語の文章をたくさん読むことで中国語力の向上をはかりました。しかしこのほかにも日中の政治関係についてもっと理解を深めておくべきであったと思います。中国の学生は政治に関して関心のある学生が多く、多くの場面で日中関係に関する意見が求められました。
この留学先を選んだ理由	北京はこれまでの歴代王朝の都であり、現在の政治の中心でもあることから、北京という都市に非常に興味を持ちました。また中国の数多くの大学の中でも、北京大学の教授は様々な大学で教鞭をとってきた経験豊富な先生方であり、さらに周りの学生は日本以上に厳しい入学試験を乗り越えた意識の高い学生たちであることから、最高の学習環境に身を置くことで、より自分の刺激になると思ったからです。
大学・学生の雰囲気	大学の雰囲気は、非常に賑やかでした。中国の大学生は皆寮生活ということもあり、食堂や部屋で談笑する学生が多かったです。食堂でも気軽に隣の学生と話したり、明るい学生が多かったように感じます。勉強も非常に熱心に取り組んでおり、空き教室などでも常に勉強している人がいました。大学は非常に広く、自転車がなければ移動は困難でした。
寮の雰囲気	寮は基本的に2人部屋で、共用スペースと自分のプライベートスペースがあります。留学生用の寮は非常にきれいで新しく、掃除も行き届いていました。日本人は基本的に日本人が多い寮に住むことになるため、国際交流は難しかったです。しかし日本人が多い分、トラブルも少なく快適に過ごせました。
交友関係	国際交流サークルに入り、ランゲージパートナーを作ったり、国際交流パーティーに参加することで中国人の友人だけでなくいろいろな国の友人ができました。特にランゲージパートナーの友人とは互いに言語を教えあうだけでなく、いろいろなところに出かけて交流することができました。また中国の各大学で開催される日中交流会に積極的に足を運ぶことで、多くの中国人の友人を作ることができました。
困ったこと、大変だったこと	現地では、何かトラブルが起こったとき、自分の力ですべて解決することが求められます。そのためトラブルの解決が一番大変でした。たとえば自転車が壊れたときは、自分で近くの自転車屋さんを探し、壊れた部分を説明し、値段交渉をするなど、すべて中国語で一人で解決するのがとても大変でした。
学習内容・勉強について	私は様々な面から中国に対する理解を深めたかったため、中国の政治に関する授業、文化に関する授業、ビジネスに関する授業など様々な授業を履修しました。今まで学んできたこととは違うため、最初はかなり苦労しましたが、自分の興味のあることだったため、理解すると達成感を得ることができました。留学のチャンスは一度しかないので、自分がやりたいことすべてにチャレンジすべきだと思います。
課題・試験について	中間レポートの課題が非常に大変でした。中国のレポートはたいてい5000字以上で、レポートを書くのにかなり苦労しました。また試験も範囲が非常に多く、膨大な量の暗記が求められるため、テスト期間はずっと勉強していました。
大学外の活動について	中国の大学は、日本人留学生が一人もいない大学も非常に多いです。そのためそのような大学の日本語学科との交流会が多く開催されており、それらに積極的に参加することで、北京大学内だけではなく他大学にも友人をつくるようにしました。
留学を志す人へ	中国は日本と同じアジア圏に位置し、日本と同じ漢字を使っているにも関わらず異なるところが多々あります。実際に行ってみて感動することも絶望することもあると思います。しかしこれらの経験は必ず自身の成長につながるものであり、無駄になることはありません。留学するか迷っている人は絶対にチャレンジすべきだと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	自習	自習	自習	授業	自習	観光
	自習	自習	自習	自習	授業	自習	観光
午後	自習	授業	自習	授業	自習	交流会	観光
	自習	授業	授業	授業	自習	交流会	観光
夕刻	買い物	買い物	授業	買い物	交流会	交流会	観光
夜	自習	自習	授業	自習	交流会	自習	観光